

柳川郷土研究会
会誌「水郷」付録

すいきょう

瓦版

発行所 柳川郷土研究会
柳川市本城町 113-1
発行人 武松 豊
編集責任者 金子俊彦



土竜(もぐら)の囁き

新年あけましてお目出度うござい
ます。テレビで“博多にわか”が演
ぜられて人々を笑わせているが、か
つて当地にも“柳川にわか”があつ
たと聞く。古い話ではあるが山川に
住んでいた興行師の雲龍氏は、この
両者の特徴を次のように語った。「
博多にわかには初めに人を笑わせ、中
途でほろりとさせ、終わりにワツと
笑わせるのが特徴ですが、柳川にわ
かは最初から終わりまで、わあわあ笑
わせるのが特徴です」と。しかし、今
では、柳川にわかには、絶えて聞くこと
も聞いた人の話を聞くこともできない。
残念であるが、どうすることもできな
い。その点、能面作りは地についてい
て、作品の展示場も現存する。嬉しい
限りである。本会は、昨年史跡訪問と
して萩旅行を実施したが、途中で長門
市の金子みすず会館に立ち寄った。想
像したより立派で見学する人の数も多
かった。文化的な物の保存は大切であ
ると思った。

(土竜)